

2025 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2025 事業年度の各事業は、2025 年 3 月開催の理事会、評議員会において承認された事業計画に基づきほぼ計画通り実施しました。

2025 年

- 5 月 8 日 ・2024 事業年度分 会計監査終了
- 5 月 15 日 ・2024 事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」をヤマザキマザックマニュファクチャリング(株)美濃加茂製作所にて実施。
- 16 日 ・2024 事業年度 研究助成金, 優秀論文賞副賞払込み完了
- 26 日 ・第 43 回理事会(書面)開催
- 6 月 10 日 ・第 48 回通常理事会, 第 28 回定時評議員会, および第 49 回理事会を六本木ヒルズクラブにて合同開催
- 23 日 ・内閣府へ定期提出書類(事業報告)提出
- 7 月 2 日 ・名古屋法務局へ評議員変更登記
- 8 月 6 日 ・内閣府へ理事、理事長、評議員の変更届提出
- 9 月 1 日 ・2025 事業年度 研究助成, 論文表彰募集開始
- 10 月 22 日 ・第 50 回通常理事会をセルリアンタワーにて開催
- 11 月 30 日 ・2025 事業年度 助成応募の締め切り

2026 年

- 2 月 10 日 ・審査委員会開催し、
 - 研究助成候補 21 件
 - 論文表彰候補 18 件
 - 国際会議助成候補 3 件 選定
- 3 月 10 日 ・第 51 回理事会(書面)開催
- 20 日 ・第 29 回評議員会(書面)開催
- 24 日 ・内閣府へ定期提出書類(事業計画・収支予算)提出

2. 前年度（2024 事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 21 件のうちの下記 21 件について研究成果の報告を受け、冊子にまとめました。

1	名古屋大学	李 昺耆	工具動剛性変動を用いた新たなびり振動抑制技術の提案
2	韓国生産技術 研究院	南 秀鉉	びり安定限界解析の高度化 -加工条件及び工具形状に応じて変化する比切削抵抗を考慮-
3	東京農工大学	河端 征大	複雑形状部品加工のための技能に基づくワークの固定に関する研究
4	東京農工大学	大和 駿太郎	流体ジェットマイクロマシニングにおける高加減速軌跡生成による微細パターン表面創成
5	大阪大学	佐竹 うらら	シリコンウェーハの両面研磨加工におけるウェーハ挙動の解明および挙動制御方法の提案
6	慶応義塾大学	小茂鳥 潤	機械要素の高度化に資する表面処理プロセス(チタン合金のための炭窒化処理の開発)
7	長岡技術科学 大学	川村 拓史	内部応力状態を改質したガラスの機械加工特性評価
8	東京大学	郭 建麗	WAPOP 法を活用したマシニングセンターによる金属精密研磨技術の開発
9	富山高等専門 学校	山本 久嗣	高電場印加型磁性加工液とそれを応用した精密穴加工法の開発
10	三条市立大学	田辺 郁男	エンクロージャを有するコンクリート製工作機械の最適設計のための FEM 熱変形シミュレーション技術の確立
11	公立小松大学	朴 亨原	Ti-6Al-4V 合金の高速旋削中におけるきりくずと切削表面の組織分析を通じた切削領域での冶金現象の探求
12	東京大学	江川 悟	エンドミル切削加工の高速 X 線撮像とその定量解析手法の開発
13	埼玉大学	阿部 壮志	指向性エネルギー堆積+切削複合加工における熱影響の調査
14	富山県立大学	伊東 聡	タッチプローブ球形状誤差の自律補正に基づく真円度/円筒度の高精度・高効率オンマシン計測に関する研究
15	東京電機大学	田村 昌一	切削力変動に基づくドリル切れ刃摩耗分布の状態監視
16	広島大学	岩本 剛	難削材 SUS304 の被削性の劇的改善のための超高压塑性衝撃波の積極利用の試み
17	千葉大学	比田井 洋史	高強度・高生産性アディティブマニファクチャリング法の開発
18	広島大学	王 飛躍	切削加工におけるびり振動の高速ボリュメトリック可視化
19	岡山大学	綱田 錬	永久磁石同期モータの低トルクリプル化を実現する最適スキュー構造の新しい開発法の検討
20	東京大学	任 宗偉	LiDAR を用いたロボット加工の位置決め精度の向上
21	上智大学	田中 秀岳	その場観察および CAE に基づいたバニシング加工による平滑面生成メカニズムの解明に関する研究

2025 事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第 4 条（1）に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び 大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

2025 事業年度は、研究助成応募 39 件、国際会議助成応募 4 件であり、いずれも 2026 年 2 月 10 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 10 日の理事会にて承認を得て、研究助成 21 件、国際会議助成 3 件を決定しました。

※ 助成・表彰実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

3. 2025 事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第 4 条（2）に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

2025 事業年度は、応募件数は 23 件で、2026 年 2 月 10 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 10 日の理事会にて承認を得て、1 件の優秀論文特別賞を含む 18 件の優秀論文賞を選定しました。

※ 助成・表彰実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。